

日本の未来を見据えて撃つ！
 そんなあなたにホットな話題をお送りする
 最先端オピニオン紙

日本シティジャーナル

発行: ネットハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉 14-3
TEL 0476-89-2333 FAX 0476-89-2334
【平日】10:00~19:00【土曜】12:00~17:00
<http://www.nihoncity.com>
成田市、佐倉市、印西市、富里市、香取市、山武市、船橋市
千葉市(花見川、美浜区)、習志野市、八千代市、四街道市
酒々井町、小井町、小林、安食、多古町、横芝光町、芝山町、神崎町

発行部数：500,000部

伊勢神宮のレイライン

列島の重要拠点を網羅する屈指の古代聖地

2013年、伊勢神宮は20年ごとに到来する式年遷宮の祭りに沸きました。式年とは定められた年のことであり、遷宮とは神社の正殿を造営・修理するために御神体を遷すことを意味します。よって、式年遷宮は社殿を造り替えるために執り行われる、20年に一度の大祭を指します。式年遷宮のしきたりは飛鳥時代に天武天皇が定め、7世紀後半、持統天皇の時代から始められました。そして古来より伊勢神宮では、内宮や外宮の正殿だけでなく、別宮も含む全ての社殿を造り替えてきたのです。その際、建物だけでなく、鳥居や御垣、殿内の装束や宇治橋、そして日用の調度品も含め、全てを新しくした上で、御神体を新宮へ遷してきました。その式年遷宮の年を迎えた2013年は、正に伊勢神宮の年であり、一生に幾度と見る事ができない遷宮の優雅な式典を満喫できる天与の機会として、多くの参拝者で賑わいました。

日本国民に愛され、皇族が最重要視する神社のひとつとして名高い伊勢神宮の歴史は古く、日本書紀や古事記に含まれる様々な記述から、その由緒や造営された背景、場所などを知ることができます。そして地理的な事柄や史実に注視しながら、列島内に見出された重要な古代拠点の地理的な相互関係を確認し、できるだけ古代人の目線に立って列島の地勢を見渡すと、ふと、古代のレイラインが伊勢を中心として構成されていることに気が付きます。そこには思いのほか、伊勢神宮と、その遙宮である伊雑宮を中心とする複数のレイラインの存在が確認され、それに結びつく古代の聖地や列島内の目印となる大自然の指標との関連性が手に取るように見えてくるのです。これらの指標や拠点は、偶然一直線上に繋がっているとは到底思えず、むしろ意図的に選別された山々や岬との繋がりを大切にして厳選された拠点だからこそ、結果として地理的に一直線上の繋がりを持つようになったと考えられます。

伊勢神宮に絡む古代のレイライン上には、伊勢神宮と伊雑宮に紐付けられた列島内の指標や拠点となる聖地が複数存在しま

す。それらの位置付けや意義を検証することにより、どのようにして伊勢の聖地が見出され、国内屈指の聖地として台頭することになったのか、その経緯が少しずつ理解できるようになります。レイラインの考察から、古代史の謎が解き明かされていきます。

海沿いに厳選された古代の聖地

古事記や日本書紀に記載されている国生み神話には、現存する多くの地名が登場します。伊耶那岐命に導かれた一行は、列島の隅々まで航海しながら島々の名前と位置を特定しました。その後、人々が集落を形成した海沿いの地名だけでなく、海峡の名前までも明記されています。例えば日本書紀の神代では、伊耶那岐命が葬られた場所である紀伊の熊野だけでなく、伊耶那岐命が穢れをすすいで禊をするために訪れた筑紫日向の地名も記されています。また、粟門と速吸名門を船で渡る記述も含まれています。潮流の速いことで知られるこれらの海峡は、前者は淡路島と阿波国の間にある鳴門海峡、後者は佐田岬と佐賀関の間の豊予海峡、もしくは明石海峡と言われています。つまり、瀬戸内海を中心に船で行き来していた地域が神代の舞台の中心であり、それだけに、古代社会は海人文化が主流であったと言えるのです。そのため、記紀の神代に関わる記述には、海峡をはじめ、海に関わる内容が複数含まれています。また、韓国(からくに)や新羅という朝鮮半島の地名も登場し、出雲との行き来も古代より頻繁にあったと想定され、大陸との交流も無視できません。古代の歴史は海人が立役者であったと言っても過言ではない理由を、記紀の記述から理解することができます。

その後、実際に神々が鎮められた場所として、沖津宮、中津宮、辺津宮からなる宗像、宇佐、紀伊の日前、出雲、尾張などの聖地の名前が記紀に名を連ねます。これらの地名は全て実存するだけでなく、海沿いや島に存在することに注目です。日本建国の民は大陸より海を渡って列島を訪れた訳ですから、最初に船を着岸させるに相応しい港の

候補地を見つけることが重要でした。よって、神代に特定された古代拠点の中でも歴史の古い聖地の殆どが、海岸から近い場所に位置しているのです。例えば熊野においては複数の聖地が存在しますが、その中でも最も古い拠点は神倉山です。そこは古代、海岸線が隣接し、すぐそばに船を着岸させることができました。宗像や鹿島、出雲、日向などの拠点も、全て海沿いです。古代の渡来者は日本列島の海岸線沿いに拠点を見出した後、その拠点から徐々に、内陸に向けて足を運び始め、集落を形成したと考えられます。

同様に古代における伊勢の発展は、神代における最古の港のひとつである伊雑宮の周辺の伊雑ノ浦から始まり、その後、長い年月を経て伊勢神宮が造営されたと考えられます。伊雑宮は伊勢神宮の内宮より11km程離れており、古代では伊雑ノ浦の海岸沿いに面したと推測されます。伊雑宮の創設に関する歴史的背景は不透明ではあるもの、後述するレイラインが証するように、列島内で際立つ自然の地勢のみを指標として結ばれるレイラインから見出された拠点であることから、その歴史は大変古いことがわかります。最古の拠点のひとつであるが故に、レイラインを構成する指標の中には人の手で造営された聖地が含まれず、自然界の地勢だけを頼りに、伊雑宮の場所が特定されたことは明らかだからです。

伊雑宮の歴史は伊勢神宮をは

るかに廻り、熊野と共に紀伊半島における最古の聖地のひとつとして重要な位置を占めました。その伊雑宮の存在を背景に、複数の聖地と結びつく特別な場所が伊雑宮に隣接する伊勢に特定され、伊勢神宮は造営されました。そして伊勢神宮は伊雑宮にとって代わり、後世においてその名を知らしめることになります。そこでまず、伊勢という場所がなぜ、古代にて注視されたか、その背景に潜む伊雑宮の重要性和その場所に紐付けられた地の力の意味を、レイラインから検証してみることにします。その上で、伊勢神宮の聖地が特定された根拠を、伊勢神宮を中心とするレイラインから考察してみましょ

伊雑宮のレイライン

伊勢神宮のレイラインを考察するにあたり、まずその基となる古代の聖地、伊雑宮の地が、どのようにして見出されたかを理解することが不可欠です。そのためにまず、伊雑宮のレイラインを検証する必要があります。伊雑宮が位置する伊勢志摩の地域が重大な聖地として歴史の流れの中に台頭した理由は、レイラインの実態を見極めることにより、明確になります。

古代、南西諸島から九州、四国を經由して北上してきた渡来者の一行は、船を着岸させるために相応しい港の候補地を特定する必要があります。その際、岬や山など、誰が見てもわかりやすい自然の地勢を見出し、渡航者の指標として定めながら、船を着岸させるための港を築いたのである。その結果、伊勢周辺の玄関として、伊雑ノ浦の沿岸が注目され、そこでは港が造られただけでなく、古代の祭祀活動も執り行われ、

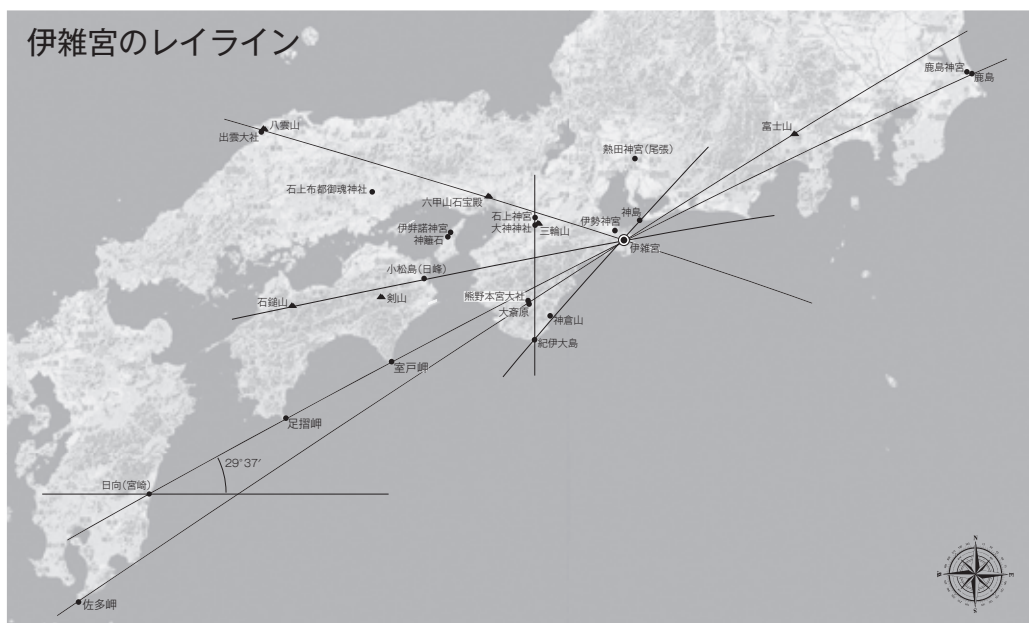


古代の聖地である伊雑宮

時代を経て近隣には伊雑宮が造営されました。こうして伊雑宮は、伊勢神宮の聖地が特定される為の基となったためと考えられるのです。では、レイラインをどのように用いて、伊勢の原点となる伊雑宮の地を見出したのでしょうか。

南西諸島から船に乗って北上してきた古代の渡来者は、屋久島を超え、九州の南に到達した際、まず、九州の最南端に姿を現した佐多岬に注目したことでしょう。そこから日本最高峰、富士山に向かって進む道、すなわち佐多岬の先端より富士山に向けて一直線を引いた線上が、旅の指標として重要な役割を果たすことになります。その線は、紀伊半島の白浜から尾鷲、志摩を通り抜けて、富士山の頂上南側へ到達するからです。白浜、尾鷲と志摩は、どれも入江を含む自然の地形に恵まれていたことから、港を構築するに相応しい立地条件を備えていました。よって、これらの場所には人が早くから住み着き、集落を形成しながら発展していくことになります。

中でも真っ先に注目されたのが、佐多岬と富士山を結ぶレイライン上に存在する志摩の伊雑ノ浦でした。そこは複数の重大なレイラインが交差する中心地点でもあり、列島の地の力を結集する聖地として、古くから祭祀活動が執り行われ、伊雑宮が造営されるに至ったと考えられます。その伊雑宮の場所を特定するために用いられたのが、四国





の南方に際立つ足摺岬と室戸岬を結ぶ、2 本目のレイラインです。太平洋沿岸を航海する民にとって、長く大きな岬は、重要な海の指標でした。ふたつの岬の頂点を結んだ延長線を九州方面、南東方向に伸ばすと、古代の日向、宮崎市の北方にあたります。そしてこの線を真っすぐ北東に伸ばすと、紀伊半島の伊雑ノ浦周辺で佐多岬と富士山を結ぶレイラインと交差し、それから鹿島を通り抜けます。これら 2 本のレイラインが交差する場所に伊雑宮が造営されているのは、単なる偶然ではないでしょう。

その証として、伊雑宮が聖地化された背景には、さらに 2 本のレイラインが存在します。まず、注目すべきは、紀伊半島最南端の紀伊大島の存在です。南方から航海すると、必ずその近海を通り抜けますが、その紀伊大島の最東端が重要であることは、その真北に大神神社と石上神宮が並ぶことからしても理解できます。その紀伊大島の拠点から、伊勢志摩の東方に浮かぶ神島を結ぶと、伊雑宮を通り抜けることがわかります。つまり、伊雑宮の聖地には、九州の最南端である佐多岬からも、四国の最南端である足摺岬からも、そして紀伊半島の最南端である紀伊大島からも、先の指標となる富士山や神島

を視野に入れるだけで、ピンポイントで伊雑宮の場所に到達することができたのです。ナビゲーションのない時代だけに、この地理的な繋がりによるアクセスのわかりやすさが、古代においては極めて重要であつたに違いありません。

さらに伊雑宮の聖地化を後押しするもう一つのレイラインが存在します。国生みの原点となる淡路島に伊耶那岐命ら一行が到達する直前、広大な湿地帯の中に浮かぶ重要な島が目にとまり、そこに一時期滞在した可能性があります。この島の頂上からは、北は淡路島、西方は四国の剣山を眺めることができるだけでなく、阿波国も広範囲に見下ろし、東方には大阪から和歌山、そして南東方向には熊野の山々までも見渡すことができます。国生みの働きに携わった神々は、周辺の島々全てを眺めることのできるこの島を重宝し、そこから島々の位置や地勢を見極めた上で、淡路島へと渡ったのではないのでしょうか。その島とは、徳島県小松島市の北方に位置する日峰山であり、今日、陸続きではありますが、元来、山全体が島であり、古代では周辺一帯が海に囲まれていたと想定されます。その山の頂上と、西日本最高峰の石鎚山の頂上である天狗岳を結ぶ線を東方に伸ばすと、びたりと伊雑宮を通り抜けるのです。

つまり伊雑宮とは、最高峰富士山と、九州、四国最南端の岬を一直線上に紐付けただけでなく、紀伊半島最南端の紀伊大島と伊勢湾の神島を結び、西日本最高峰の石鎚山をもレイライン

上に並べ、それらレイラインが全て交差する中心点に造営されたのです。数多く存在するレイラインの中でも、これだけの自然の地勢を、ありのままに用いて見出された拠点は他に例がないだけに、いかに伊雑宮が重要な聖地であったかを知ることができます。

伊雑宮が古代の聖地である理由

これまでのレイラインの検証から、伊雑宮が造営された場所の歴史は大変古く、国内最古の聖地のひとつであったことがわかります。また、その歴史はおそらく伊勢神宮のものを遥かに遡ると推測されます。それは一体、何を意味するのでしょうか。創始の順番からすると、伊雑宮が伊勢神宮の本宮と考えるべきでしょうか。実際問題として、伊雑宮と伊勢神宮との関係において、どちらが本宮であるかという激論が、江戸時代より宗教界に生じていたのです。そして伊雑宮を伊勢の内宮、外宮と並べて伊勢三宮とし、天照大神は元来、伊雑宮にて祀られていたとする「伊勢三宮説」が流布され、大きな論争を呼び起こしました。伊雑宮の再興を目論んだ伊雑の神人や宮人の働きはその後も続きますが、やがて偽作であるというレッテルを貼られ、一蹴されることとなります。しかしながら、伊雑宮こそ伊勢神宮の本宮であるという説は今日でも根強く残っているだけに、レイラインの考察から推測できる見解も含め、今一度、見直しの必要に迫られています。

志摩国一宮である伊雑宮は、その由緒によると、垂仁天皇の時代に倭姫命が志摩国を巡行した際、出迎えた伊佐波登美命により創建されたと伝えられていま

す。以来、伊雑宮では海人に纏わる信仰が篤く、今日まで漁師や海女らが伊雑宮から磯守を受け、それを身につけて海へ出る風習が続いています。また、伊雑宮は伊勢神宮の内宮である皇大神宮の別宮としても知られています。特筆すべきは伊勢神宮の別宮 14 社のうち、伊雑宮が唯一、伊勢以外の場所に存在するということです。伊勢から離れていても伊勢神宮の別宮になりうるということは、伊雑宮が伊勢神宮と何かしら深い絆で結び付いていることの証と言えます。また、「皇大神宮儀式帳」（804 年）には伊雑宮が「称天照大神遙宮」と記され、皇大神宮から離れた志摩に存在する天照大神の遙宮として、大神宮の管轄下にて大切に取引計られていたことがわかります。

伊雑宮で祭祀を執り行う神宮の多くは磯部氏を名乗る地方豪族の出であり、伊雑宮が文献上に初めて登場する「志摩国輪唐帳」（729 年）によると、伊雑宮には既に伊雑神戸が置かれていました。また、「皇大神宮年中行事」には、伊雑宮に関わる伊雑浦七ヶ所が神領とされていることが明記され、大神宮の神戸が多数存在したことがわかります。こうして「伊雑神戸」という名称は、いつしか大神宮神戸の意味を持つ言葉としても使われるようになり、古代から伊雑宮は、別格の待遇を受けていたことがわかります。

さらに、伊雑宮では 20 年に一度、式年遷宮のための、お木曳行事も伊勢神宮に準じて執り行われ、志摩一国の大社として多くの神財が調進されてきました。よって、遙宮でありながらも実際には大神宮と密接に繋がる祭祀活動の場として、三節祭

と呼ばれる月次祭（つきなみさい）や神嘗祭では、朝廷の幣帛（へいはく）を献じ、本宮と同じ蓑笠を供える祭も執り行ってきたのです。伊雑宮の祭祀活動は元来、皇大神宮と類似点が多かったようです。そして伊雑宮が隣接する伊雑ノ浦は、古代の海上交通における要所であり、神嘗祭などの伊勢神宮で執り行われる年中行事に必須な物品の供給源となっていたことから、伊勢神宮にとって伊雑宮は陸海を通じた大切なアクセスポイントに造営された遙宮と考えられていたのです。また、伊雑宮周辺は志摩国でも水田耕作が可能だった数少ない土地のひとつとしても知られています。これらの史実から察するに、伊勢神宮にとって伊雑宮の存在そのものが、極めて重大な意味を持っていたに違いないことがわかります。

「伊雑宮」は「いざうぐう」と読まれることもあります。元来の正しい読み方は、「いざわぐう」です。なぜ「いざわ」と呼ばれるようになり、「伊雑」という漢字が当てられるようになったのか、定かではありません。しかしながら、古代の渡来者が日本列島の聖地のひとつとして古くから見極めた場所であり、初代の一行にはイスラエルからの預言者イザヤが関わっていた可能性があることから、その渡来者の群れのリーダーである「イザヤ」の名前にちなんで「イザワ」という地名になったと推測することも可能ではないのでしょうか。伊雑宮の紋は今日まで、イスラエルのダビデの星を象っているだけでなく、伊勢神宮の参道沿いにも、同じ形の紋が石灯籠に彫られています。それ故、伊雑宮と深く結ばれる伊勢神宮の背景にも、イザヤと

お庭でビアガーデン気分!

GBT620 (ガーデンベンチ)
¥32,800 (税込 ¥35,424)
●素材: チーク天然木
●幅 120×奥行 49×高さ 90cm
●インドネシア製

GTT035 (ガーデンテーブル)
¥7,980 (税込 ¥8,618)
●素材: チーク天然木
●幅 60×奥行 50×高さ 50cm
●インドネシア製

GT044 (ガーデンベンチ)
¥19,800 (税込 ¥21,384)
●素材: チーク天然木
●幅 100×奥行 40×高さ 40cm
●インドネシア製

AZR070 (サイドテーブル)
¥21,800 (税込 ¥23,544)
●素材: チーク天然木
●幅 70×奥行 50×高さ 62cm
●インドネシア製

GCT004 (ガーデンチェア)
¥21,800 (税込 ¥23,544)
●素材: チーク天然木
●幅 56×奥行 49×高さ 86cm
●インドネシア製

DXWA52 (ウッドデッキパネル) ¥480 (税込 ¥518)
●素材: バンキライ (天然木無塗装) ●縦 30×横 30×厚さ 3cm

敷くだけ簡単! ウッドデッキ作り
並べて敷くだけでウッドデッキに早変わり!
置き方で模様アレンジできます。

洗練された北欧製の ダイニング家具

SM66B/Suara29 ¥37,905 (税込 ¥40,937)
●色: ビーチ
●幅 45×奥行 41×高さ 95cm
●デンマーク製

SM66B/Papago27 ¥37,905 (税込 ¥40,937)
●色: ビーチ
●幅 45×奥行 41×高さ 95cm
●デンマーク製

SM62B/Suara29 ¥36,952 (税込 ¥39,908)
●色: ビーチ
●幅 45×奥行 41×高さ 100cm
●デンマーク製

SM64B/Ambassador Plain27 ¥31,238 (税込 ¥33,737)
●色: ビーチ
●幅 45×奥行 41×高さ 95cm
●デンマーク製

SM32MB ¥198,095 (税込 ¥213,942)
●色: メイプル
●素材: メイプル天然木化粧板
●幅 120/146×高さ 73cm
●部分組立 ●デンマーク製 ※チェアは別売り

展示品特價

この他、多数商品を取り揃えております。お得なセール情報も満載! 是非ファニチャーハウスのWEBサイトをご覧下さい。

www.furniturehouse.co.jp

※ショールームは現在準備中です。
何卒、ご了承下さい。

携帯電話からは
コチラ!

ファニチャーハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉 14-3
ご注文・お問合せは、WEBサイト・電話・ファックスから

TEL: 0476-24-5111
FAX: 0476-24-5112

www.furniturehouse.co.jp

送料・お支払い方法・発送時間などについては、お問い合わせください。
お客様の都合によるキャンセル・返品は承っておりません。

※掲載している価格は 2014 年 7 月現在のものです。最新の価格はファニチャーハウス WEB サイトにてご確認ください。

室内でも室外でも活躍する音響機器!

PA10/4
クラシックプロ 商品ID:25720

ミキサー
+
スピーカー
+
マイク(1本)

講演会やイベント、
ステージ用途に最適!
箱を開けてセッティングすれば、
すぐに音出し可能。マイクは
合計4本まで接続可能です!

23,800円
(税込 25,704円)

スピーカーケーブル&
マイクケーブル付属!

持ち運びラクラクな
コンパクトセット

※マイク1本付属

ミキサー、スピーカー、ケーブル等を1つに収納可能。
コンパクトにまとまりキャスター付きで持ち運びも楽々

PAeZ **34,800円**
(税込 37,584円)

ワイヤレスマイクセット

クラシックプロ
CWM801S PLUS
28,500円
(税込 30,780円)

送信機内蔵・高音質マイクと受信機のセット!

株式会社サウンドハウス
〒286-0825千葉県成田市新泉14-3 (野毛平工業団地内)
TEL:0476-89-1111/FAX:0476-89-2222
www.soundhouse.co.jp

ショールームでお持ちしています!
R308 サウンドハウス 至
R511 至
R295 至
《営業時間》
平日 10:00~19:00
土曜 12:00~17:00
日曜/祝日 休業

他にも色々取揃えています!

カリフォルニアの美味しい水 アクアヴィル

AQUAVILLE

2ケースセット! 計48本

500mlボトル 24本入



2ケース
税・送料込

1,858円

※一部離島を除く

◀携帯でのご注文はこちら

フィットネスハウス **0476-89-3111**



ホール配膳スタッフ募集

〔業務〕レストランのホール&キッチン、フロント受付
〔資格〕車通勤可(大駐車場完備)、未経験者も歓迎
〔時間〕土・日・祝日 11:00~16:00、16:00~21:00 など
1日5~8時間のシフト制(応相談)

〔給与〕時給 900円

〔待遇〕社保完備、従業員家族を当館へ無料優待
〔応募〕下記へ電話連絡の上、履歴書を持参ください
※正社員も同時募集、お気軽にお問い合わせください



大和の湯
〒286-0841
千葉県成田市大竹 1630

お問合せ **0476-28-8111**
e-mail: info@yamatonoyu.com (担当:採用係)

隠れ家的

大人リゾート

成田の命泉
大和の湯
yamato-no-yu

自然を肌で感じる露天風呂
＜富士見の湯＞

大和の湯 - 効能 -

腰痛、神経痛、筋肉痛、関節痛、
アトピー、五十肩、うちみ、運動麻痺、
関節のこわばり、くじき、痔症、
慢性消化器病、後回復期、切り傷、
肌あれ、冷え症、疲労回復、健康
増進、やけど、風邪の予防など

YAYOI SPA
& FITNESS

YAYOIスパ&
フィットネス

スパ アロマ・ボディなど一流れ
施術師のケアでリラックス

◆ボディ.....(30分) 3,200円~
◆フット.....(15分) 1,800円~
◆アロマ.....(30分) 4,000円~
◆フェイシャル.....(30分) 3,500円~

フィットネスジム

ジムとプールで心身ともに健康に

◆ジム.....●1,000円
◆ジム+プール.....●2,000円

3F **あじさい** いま世界を感動させる
日本ワイン

■白ワイン
シャトー・メルシャン
アンサンブル 萌黄

数量限定(グラス)…各**480円**

※なくなり次第終了となります
※この他に焼酎、日本酒も数量限定がございます

山梨からのおくりもの 今季600円にてご提供!

■赤ワイン 中央葡萄酒株式会社
グレイス 茅ヶ岳

(グラス)…各**600円**

※なくなり次第 終了となります

■生ビール
サントリー
ザ・プレミアムモルツ (グラス)…**390円**



カリフォルニアロール

お酒をより美味しく

茶豆 300円
珍味三種盛り 600円
チーズ三種盛り 800円
カリフォルニアロール 800円

〔営業時間〕11:00~22:00(ラストオーダー 21:00)

入館料

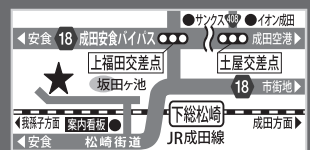
平日 : 700円
土日祝: 1000円

※小学生の入館料: 300円(大人同伴の入館の場合)

営業時間

10:00-22:00
※年中無休(全館禁煙)

未就学児の入館はご遠慮ください



www.yamatonoyu.com

TEL **0476-28-8111**

WEB サイト案内

日本シティジャーナルをご覧いただきありがとうございます。
本紙のバックナンバーはWEB サイトにてすべてご覧頂けます。
連載中の歴史に関するコラムは最新情報に随時更新して
スペシャルサイト「日本とユダヤのハーモニー」にまとめて
あります。ご意見・ご要望等をお待ちしております、FAX や
ホームページからお寄せ下さい。

日本シティジャーナル: <http://www.nihoncity.com/>
日本とユダヤのハーモニー: <http://www.historyjp.com/>



編集後記

今年のお盆は台風11号の影響により、レジャー施設が打撃を受け、せっかくの休日プランが台無しになってしまった人も少なくないはず
です。高知の「よさこい祭り」も前夜祭がキャンセルというかつてない事態。四国全体が大雨に見舞われています。東海地方でも初めて三重県に大雨特別警報が出て、津市が滝のような雨にみまわれている状況がテレビで映し出されています。今月のメイン記事は偶然にも三重の伊勢神宮。みなさんの無事をお祈りしながら、記事を書いています。

NCJ 編集長 中島 尚彦

1957年東京生まれ。14歳で米国に単身テニス留学。ワートンビジネススクール卒業後、ロスアンゼルスにて不動産デベロッパーとして起業、ビジネス最前線で活躍する。1990年に帰国後、成田にサウンドハウスを立ち上げる。現在ハウスホールディングス代表、日本シティジャーナル編集長を兼務。趣味はアイスホッケーと読書。ここ数年は「日本とユダヤのハーモニー」の執筆に動む。

